

鋼材長さ計

搬送ライン上に形鋼の先端及び尾端を検出する光電センサとレーザドップラ速度センサ(LDVセンサ)の組み合わせにより、非接触で鋼材長さを測定します。

特 徴

- 形鋼製品のような品種や寸法が多岐に渡る鋼材に対しても、LDVセンサの測定範囲内に測定面が収まるよう、幅及び高さ方向位置をプリセットすることで対応可能です。
- 鋼材搬送の停止、及び逆走にも対応可能です。

対象材料

- 厚板、棒鋼、鋼管、形鋼など

装置構成

- 図1参照(H形鋼、鋼矢板への適用事例)

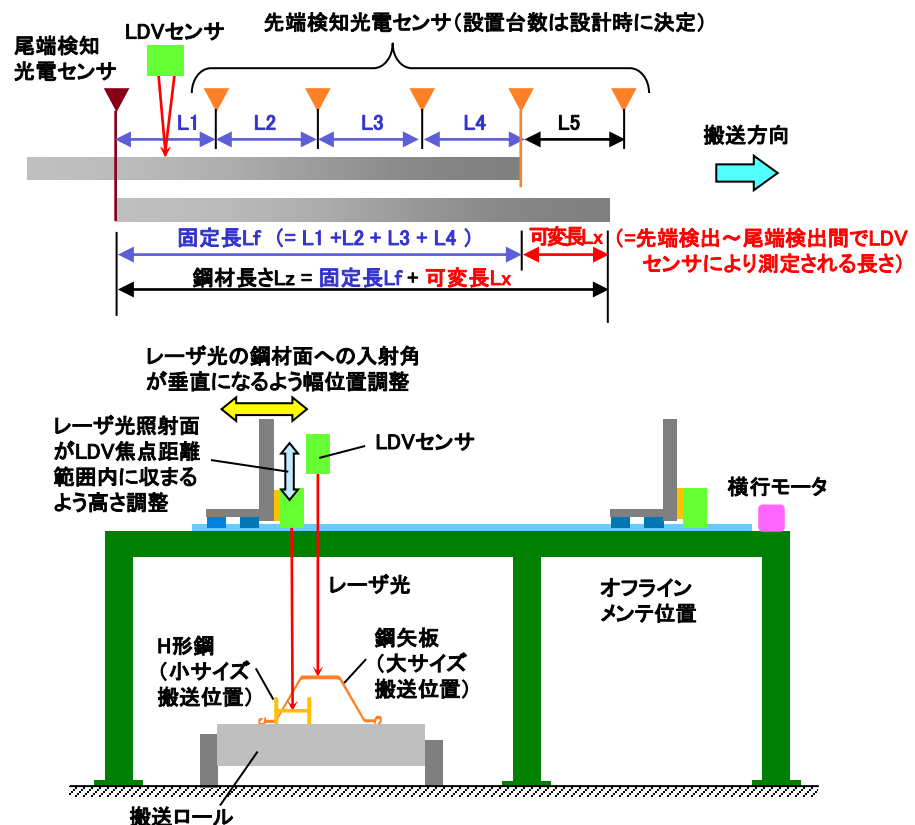


図1 装置構成(LDVセンサ設置機構)

装置適用例

図2は、形鋼工場への装置適用例です。

LDVセンサは下部に投受光のための開口部を設けた収納ボックス内に配置し、ボックス内には常時冷却エアの出し入れを行うことで、粉塵などの影響を受けることなく、安定して測定します。

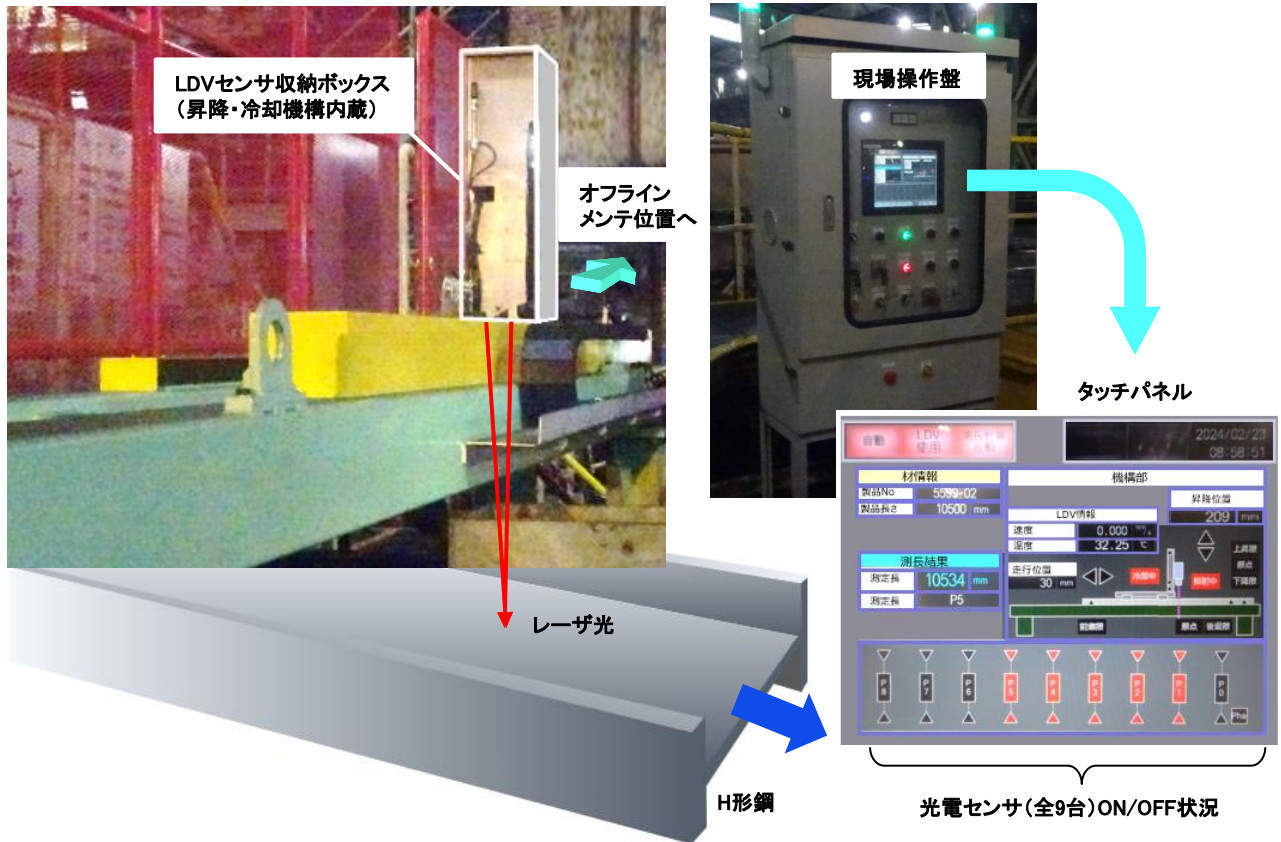


図2 装置適用例

その他

センサー一覧に戻る

是非ご相談ください。

<https://www.jfe-planteng.co.jp/>

最寄りの営業所・支店はHPをご覧ください。